

P7~13 [特集 ロータリーの友月間]  
—『ロータリーの友』を裏側から探る— 毎月雑誌  
が作られるまで  
友の制作過程や掲載されやすいポイントが書か  
れています。  
・どうしたら友に掲載されるの？ 他

P14~15 [PICK OUT PROJECT]  
留学生から始まったバリ島での水と教育支援  
バリ島で井戸を掘り、きれいな水を提供すること  
の苦勞が紹介されています。

P16~17 [関東大震災から100年]  
ねがう、おくる、ふりかえる(高崎シンフォニーRC)  
1923年の関東大震災時後の建造物「Rotary  
Home」を振り返り、次世代へバトンタッチすること  
の重要性が記されています。

P22~23 [ロータリー米山記念奨学事業の基  
礎知識]  
日本独自のロータリー米山奨学金制度について、  
今回は寄付金や財政について詳しく紹介されてい  
ます。

P26~31 [ロータリーアットワーク]  
17RCの活動が紹介されています。

P39 [内外よろず案内]  
2023年10月27日(金)に大阪城南RC主催で開催  
予定のウクライナ支援のための講演会のご案内

#### 【縦組記事】

P4~8 [SPEECH]  
2022年1月22日国際ロータリー第2680地区 社会  
奉仕委員会  
大阪教育大学名誉教授 竹田 契一  
読み書きが苦手な子供のために

P9~12 [シリーズ この人訪ねて]  
岐阜中RC 故金 正司さん  
・バイクに魅せられ害虫駆除で頭角を現す  
・ワイルドな少年時代 柳ヶ瀬を走った青春時代  
・アフリカに蚊帳を送るが、子どもより親が優先の  
現実

P14~15 [俳壇・歌壇・柳壇]  
P14俳壇 東大阪東RC 溝畑洋子会員が紹介さ  
れています。おめでとうございます。

溝畑会員の句  
「万緑や大樟の霊降りそそぐ」

樟(クスノキ)は香り高い木。鬱蒼(うっそう)と茂る  
樟の大樹が香(かぐわ)しい香りをさかんに撒き散  
らしているのだろう。それを大樟の霊(たま)といっ  
たところに、樟の神々しさが表れている。

P16~20 [友愛の広場]  
エッセイ、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑  
感など。1000字以内。関連写真があれば添付して  
ください。

P21 [卓話の泉]  
クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観  
的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで  
要約、掲載しています。  
今回は、高槻RC 羽根田茂子会員「所有者不明  
土地」



Rotary



HIGASHI-OSAKA EAST R.C.

国際ロータリー 第2660地区 東大阪東ロータリークラブ

## CLUB WEEKLY No.2774

国際ロータリー会長  
ゴードン R. マッキナリー

会長 城戸 総一郎

Rotary  
District2660



私たちの行動から希望が生まれる  
活力あふれる楽しいクラブを築こう！



### 基本的教育と識字率向上月間 ロータリーの友月間

例会日：2023年9月7日  
(令和5年9月7日)

#### 今日の例会

2023年9月7日

- 本日の卓話  
「月間卓話と防災について」  
ロータリーの友担当 北川 忠嗣 君

- 今日の歌 「君が代」「四つのテスト」

- 例会後 9月度定例理事会

#### 来週の例会

- 9月14日(木)  
卓話「HANAZONO EXPOのご紹介」  
東大阪市企画財政部 企画室  
室長 飯田 陽子 様

#### 会長の時間

城戸会長

私は仏教を始め様々な教えを経営に用いることが多く、中でも先代の時代からお世話になっている「日本経営合理化協会」は、年間数々の経営セミナーが開催され、また同時に毎月定期的に書物が送られてきますので自分への戒めとして大いに活用しています。先日9月の視点「繁栄の着眼点」というレポートで「人を大切にしている経営」というテーマがあり、ふと目に留まりました。参考になればと思い共有させていただきたいと思います。(以下本文一部抜粋)  
いつのころからか世間では会社を「ホワイト」「ブラック」と色分けするようになった。最近では「ゆるブラック」などという言葉も出てきてしまった。「ブラック企業」とは説明するまでもなく、長時間労働、高すぎるノルマ、低賃金、高い離職率、日常的なハラスメントなどだ。これらのどれかに引っかかれば「あの会社はブラック」だと言われる。これは既に令和の常識となった。だが相も変わらず次から次へと「ブラック企業」が出てくるのは、やっている社長本人は気付いていないからだ。それどころか自分は正しいとさえ思っている。先日全国経営者セミナーにて講師の方と控室で話をしていた時のことだ。「理事長さんは、経営に何を求められますか？お金ですか？社会貢献ですか？社員の幸福ですか？」と三択で訊かれた。不意な質問で考えたが「全てです」とお答えした。三択で全部と返答するのはズルかもしれないが、それしかなかった。社会貢献もしたい。社員も幸福にしたい。この二つを求めるとはお金がいる。綺麗ごとを言っても、お金が無いと結局は何も掴めない。これが資本主義だろう。今回世間を騒がせている問題は、経営にお金しか求めなかった結果だ。そこには社会貢献もない。社員の幸福もない。ましてや「お客様第一主義」など微塵もない。日本経営合理化協会が60年近く取り組んできたこととは真逆の思想だ。  
対して「ゆるブラック企業」とはどんなものか。それはブラック企業のような厳しさはない、居心地は決して悪くないけどぬるま湯、自分の成長が期待できない、将来が見えない、収入が増えない会社のことだ。いわゆる「楽な会社」だ。先日こんな統計を見た。「楽な会社で働きたいか」というアンケートに対して、結果は「働きたいとは思わない」が68%であった。実に7割近い人がNOと言っているのだ。これを高いとみるか、低いとみるか。  
私は68%の人は当たり前で、むしろ32%の人が楽な会社で働きたいと言っていることに危機感を覚える。この人たちは自分の成長が期待できなくても、収入が増えなくても構わないと言っているのだ。現状は日本に「夢が持てない」と感じているのだ。こんな日本でいいのだろうか。「ウチはゆるブラックにならないから大丈夫」と思っていたら危険だ。実は、「ホワイト企業」を目指す会社ほど、「ゆるブラック企業」になり易いからだ。「働きやすい会社」ではなく、「働き甲斐のある会社」を目指して欲しいとは実学の門で何度も何度も言ってきた。その決定的な違いは「自分の成長」「収入が増える」この二つがあるかないかだ。似ているようで全く違う。本質を間違えてしまうと全てを間違える。社長は本質を見る目を持たなくてはならない。私たちロータリークラブも「人を大切にする組織」「自分の成長に繋がる組織」であり続けたいと思います。

東大阪東ロータリークラブ

HP: <http://www.higashiosaka-eastrc.jp>

会長: 城戸 総一郎  
幹事: 井戸田 精一  
会報資料担当: 井上 家昌

創立: 昭和40(1965)年3月4日 例会場: ホテルセイリウウ 例会: 毎週木曜日 12:30~  
事務局: 〒579-8012 東大阪市上石切町1-11-12 ホテルセイリウウ302号室  
TEL072-985-0189 FAX072-985-0577 E-mail:higashiohrc@air.ocn.ne.jp

## 幹事報告

井戸田幹事

《これからの予定》

- 【1】 本日例会後、9月度定例理事会
  - 【2】 9/12(火)衛星クラブ例会19:00～
  - 【3】 9/16(土)クラブ国際奉仕・社会奉仕合同委員長会議(浅田国際奉仕委員長、新井社会奉仕委員長出席)
  - 【4】 9/21(木)延原ガバナー公式訪問
- 《連絡事項》
- 【1】 本日例会後、事務局にて13:40より9月度定例理事会を開催いたします。理事の方よろしくお願ひ致します。
  - 【2】 東大阪中央RCより、第1回東輪会ゴルフコンペ開催のご案内が届いております。日時は2023年10月6日(金)場所は奈良国際ゴルフ倶楽部です。参加希望の方は受付の出欠ボードにご記入をお願いいたします。多数のご参加よろしくお願ひ致します。

## 本日の卓話

北川 忠嗣

### 変わる防災の常識

ほんの昔までは、大規模災害と言えば地震を思いつく人ばかりだったと思います。

しかし、昨今における大規模災害は、台風の巨大化、線状降水帯にみられる一極集中型の大雨など、豪雨災害が多発しているように感じます。

また、終息に至っていないコロナにしても大規模災害だったと言えるのではないかと。さらに、真夏には40℃を超える記録的な猛暑が続き、「災害級の暑さ」といった表現も珍しくなくなってきました。

地球温暖化は、気温上昇だけでなく地球全体の気候を変える「気候変動」を引き起こしています。すでに、世界各地でも自然環境や人の暮らしに様々な影響や被害が現れています。

コロナ禍が始まった頃に、オーストラリアでは史上最大規模の森林火災が発生しました。この火災は、発生から半年以上の8か月間も燃え続け、34人がお亡くなりになられ、住宅は約3千件と数千のビルを焼失させています。

動物への影響も甚大であり、オーストラリアで代表とされるコアラ。このコアラも総数の約3分の1が死んでいます。魚にしても、灰や汚物が川を汚染させて多数死滅しています。

オーストラリアでは過去に何度も森林火災を経験しているため、対策は十分にとられていたものの、今回は40℃を超える気候に加え、長時間に及ぶ深刻な雨不足という環境で、森林火災が悪化してしまいました。

最近では、ハワイのマウイ島でも大規模な山火事で、多数の死傷者が発生し、観光客の避難騒ぎにもなりました。

原因は、強風で電柱が倒れ、送電線が草などに接触したことが出火原因だったとのことですが、これも気象変動による強風が巻き起こしたものでないか。

地震以外の大規模災害が全世界で発生しています。

国連のアントニオ・グテレス事務総長は、地球温暖化は終わり地球沸騰化の時代が到来したと発言しています。

地球温暖化は、気温を上昇させるだけでなく地球全体の気候を大きく変える「気候変動」を引き起こしています。

先ほどの山火事のように、すでに世界各地では、自然環境や人の暮らしに、そのさまざまな影響や被害を及ぼしています。

その深刻さから近年では「気候危機」とも言われるようになり、こうした問題は我々みんなが十分に対策を考えなければさらに深刻化し、取り返しのつかない被害の危険性があります。

巨大化する台風や豪雨災害は、気温や水温の上昇により、空気中の水蒸気が増えて積乱雲ができやすくなり、その危険性が高まっております。

国内では東北や北海道の比較的雨が穏やかだった地域においても、近年では気象災害の激化が起り始めています。

これらの地域での防災基準は、過去の穏やかだった気候の中で対策されており、想定を越す大雨には追い付かなくなっています。

気象災害だけではなく、火山活動や地震などの災害も看過できません。

東日本大震災以降、不安定な状態が続き、火山活動も各地では活性化しています。今後も想定外の災害がいつやってくるかわかりません。

災害大国である日本は、高度なインフラが発達した防災大国として、行政が守ってくれていましたが、そこで想定された災害規模はすでに過去のものとなっており、これまでの安全は今後の安全を保障するものではありません。

今後は、国民一人ひとりが防災に関する意識を高めていくことが急務であります。

東日本大震災のような広域な災害が起こると、道路が寸断され、物資等が行き渡るまでに数日を要しました。各家庭においては、日ごろからの備蓄として、水、食料、衛生用品、その他の必需品に

ついて、最低でも1週間程度は家にあるものだけで耐えられるだけの備えを行う必要があります。

たとえ支援物資が手元に届いても、すべての物が本人の希望どおりというわけではありません。飲食物については味も好みだけではなく、アレルギーといった問題も生じ、化学繊維の衣服等が苦手な人、常備薬が必要な人、ペット用品など、個人としてどんなに必要でも、いつ手に入るか見通しが立たないのが被災地です。

また被災地では、何もかも失いながらも生活に必要な思い出の写真1枚をずっと探し続けておられる方もいます。他人から見れば、生活をするのに不必要なものかもしれませんが、それでも思い出の詰まった品物であり、苦しい状況のなかで生き抜くための心の支えになる物です。

備えとは、「これだけ揃えておけば安心できる。」という正解があるのではなく、本当に必要なもの、ないと困るものは個人により異なります。自分に必要なもの、ご家族にとって必要なもの、あるいは大切なものをリストアップし、突然やってくる災害への備えを考えておきましょう。

これからの時代は、ますます災害が激化してきます。

いつ、どこで、誰が被災生活を送ることになってもおかしくありません。「備えあって憂いなし」今からどんな災害が来ても安心が保たれるように、災害に備えておきましょう。

## 出席報告

8月31日

(8/31)の出席者数:25名(2)

ゲスト 1名:米山奨学生 範 虹宇さん  
 ビジター5名:東大阪ロータリークラブ  
 中原由輝広様 市村 優次様  
 清水 浩一様 河野 裕 様  
 金治 好美様

8/31 出席率:60.98%

※( )内数字は出席免除会員の出席者数  
 会員:49名(免除10名)

	8/10	8/17	8/24
HC出席	休会	28(2)名	29(2)名
MU出席		9(2)名	3(0)名
修正出席率		86.05%	78.05%

## 大橋ガバナーエレクト今月の予定

(代表幹事予定者:吉崎記)

- 9月2日 地区財団セミナー
- 9月3日、4日 GETS(ガバナーエレクト研修) #1
- 9月13日 ポリオタスクフォース会議
- 9月16日 地区国際・社会奉仕合同委員長会議
- 9月19日 次年度研修打ち合わせ
- 9月25日 第三回大橋年度幹事団会議、ガバナー補佐エレクト会議
- 9月26日、27日 次年度委員長面談
- 9月28日 青少年奉仕合同委員長会議

(ひとこと)

今月は、ガバナーエレクト研修から始まります。予習資料も送られて、行けば終わるような代物ではないので大変です。また、月末に続く次年度委員長面談では、もう来年度の方針を出さないといけません。予算組も始まります。益々忙しくなりますが、どうぞよろしくお願い致します。

## ロータリーの友 2023年9月号推奨記事から抜粋 「ロータリーの友」北井雄大地区代表委員

広報委員会  
 広報・雑誌担当 北川 忠嗣

### 【横組記事】

9月は基本的教育と識字率向上月間/  
 ロータリーの友月間

P4~5 [RI会長メッセージ]  
 行動人たる私たちにとって、戦争を回避するだけでは十分ではなく、世界に希望を生み出すには、積極的に平和を訴える必要がある。国家間では緊張関係にあるパキスタンとインドのロータリー会員の行動が積極的平和の実践として紹介されています。

P6 [ロータリーとは]  
 ・ロータリーの誕生とその成長  
 1905年2月23日、世界で最初のシカゴロータリークラブ誕生  
 現在では全世界の国と地域のクラブ数は36,838クラブ  
 ・日本のロータリー  
 1920年10月20日、日本で最初の東京ロータリークラブ創立  
 現在では日本全体でのクラブ数は2,206クラブ